

第58回一般質問一覧表

29. 9. 26

順位	氏名	項目	要旨	答弁
1	林 晴信	公務員の副業推進について	今年に入って、神戸市や生駒市などで相次いで職員の副業推進のルールが制定されている。従来は公務員の副業は禁止が金科玉条のように語られていたが。地方公務員法第38条第2項における人事委員会規則にあたるものは西脇市にはあるのか？	部長
			神戸市や生駒市のような公共性のある組織等での職員の副業に対するデメリットは何かあるか？	
			「地域に飛び出す公務員」のようなイメージを持つ、神戸市や生駒市のような形での職員の副業推進を西脇市でも行わないか？	市長
			非正規職員の副業について問う (官製ワーキングプアと称される非正規職員の処遇と副業について問う。)	部長
			非正規についてもルールを作り、副業できる体制づくりが必要なのではないか？	市長
2	坂部武美	スポーツ振興補助について	今回、補助はいくらだったのか (西脇野球スポーツ少年団が県代表として台湾へ行って試合をした。市や財団、県からの補助額はいくらか。以前に小野や三木も参加している。その時の補助額は。)	市長
			活動補助を見直すべき (市長は、子育てしやすいまちの実現を目指すと言われた。 結婚、出産、保育ももちろん重要であるが、スポーツも子育てしやすいまちを計る基準の一つである。活動補助を見直すべきではないか。)	
		市民交流施設の座席数について	関係団体との意見集約は (12月議会で、もう一度、関係団体の意見を聞くと言われたが、その結果は。)	市長
市長の発言をどう捉えているのか (基本計画では500席程度としているが、市民への説明会で市長はミニマム500席と言われた。この市長の発言をどう捉えているのか。)				
多可町との定住自立圏を踏まえた考え方は (将来、多可町との広域的考え方が必要となってくる。文化ホールもその一つである。どのように考えているのか。)				

順位	氏名	項目	要旨	答弁
3	村井正信	学校図書室の充実を	西脇市内統一学力調査結果を見ると、小学生・中学生ともに大きな課題があるところが「書くこと」である。「書くこと」は単に字を書くということだけでなく、「考えたことを書く」ことであり、考えることの最初の一步は本を読むことの習慣からだと考え、学校図書室の充実を求める。	教育長 部長
			「教育に関する事務の点検及び評価の報告書」を見ると、学校図書室の整備の項目での取組は「図書の購入」だけである。「図書室環境整備の充実」を「報告書」に入れて課題とし今後改善を図ること。	
			生徒に本に触れる時間を確保することが必要である。西脇小学校で行われている「ブック・ママ」のような制度を各小学校内の地域でお願いするか、もしくは何らかの形で的人员配置が必要である。図書室への人員配置の必要性についてどのように考えているのか。	
		労働時間の適正な把握のために	時間外勤務の現状について、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」（以下、ガイドラインと言う）と比較しながら質問する。	市長 部長
西脇市としては、ガイドラインの趣旨を尊重するのか。				
ガイドラインでは「自己申告による労働時間の把握はあいまいな管理となりがちであることから、定期的の実態調査が望まれる」とあるが、時間外勤務に関する定期的な実態調査を行う予定はあるのか。				
		「時間外労働時間の削減のための社内通達や時間外労働手当の定額払等労働時間に係る事業場の措置が、労働者の労働時間の適正な申告を阻害する要因となっていないかについて確認するとともに、当該要因となっている場合においては、改善のための措置を講ずること。」とある。これは「隠れ時間外労働時間」が起ることを想定している。 市としては、その点をどのように考えているか。		